祝子の風

黒岩小中学校学校だより

H29.7.13

No. 4

文責：校長

思い出に残る楽しい修学旅行

六月二十七日～三十日に、中学部の修学旅行が行われました。梅雨時にもかかわらず、幸運にもほとんど雨の心配がいらない四日間でした。

「協力」「テキパキ行動」「時を守る」のスローガンのもと、『思い出したときに笑顔になる修学旅行』を合い言葉に、実行委員や班長を中心に自主的に行動していました。

バス内や見学地では、何人ものガイドの方に案内や説明をしていただきましたが、子どもたちは熱心にメモを取って真剣に聞いていました。案内をされた方々からも「素晴らしい生徒さんですね」とお褒めのことばをたくさんいただきました。座禅をした天龍寺では、ご住職からじきじきに庭の案内までしていただきました（異例のことだそうです）。

全行程で、予定通りに見学ができ、特に班別自主研修では、初めての土地にもかかわらず自分たちで協力して、時間内に京都市内を巡りました。

とても充実した修学旅行でした。

USJ。三つ以上アトラクションに乗った生徒も。

東大寺前。とても楽しい名物ガイドさんでした。

「当たり前」の反対は？

七月五日(水)に、ＪＩＣＡ青年海外協力隊で、西アフリカのベナンで支援をしていた甲斐未来（みき）さんに講演をしていただきました。これはその中で出された質問です。正解は「有り難い（有り難う）」です。

現地では、電気や水道がありません。その中で子どもたちも生活をしています。我々が普段、普通にできていることが、現地では当たり前ではないのです。講演終了後も子どもたちは講師に質問をしていました。国際理解が深められました。

全校で田植えをしました

水不足のため当初の六月十七日(土)から二十日(火)に変更して実施しました。田んぼの水が足りなかったため、地域の方がポンプで水を汲み上げて入れてくれたり、代かきをしてくれたりと、いろいろと準備にご協力をいただきました。二枚の田んぼのうち、一枚は小学校低学年と中学生で、もう一枚は小学校中・高学年で行いました。二時間を予定していましたが、全員で協力して一時間ほどで終えることができました。

ミニバレー・玉入れお疲れ様でした

ミニバレーでは六月十四日の練習、二十一日の大会とお疲れ様でした。大会当日は接戦が多く珍プレー・好プレーがたくさん見られました。この行事を通して保護者同士、保護者と職員、地域の方々との親睦が深められました。ご協力ありがとうございました。

また、七月八日(土)に北浦町体育館で市ＰＴＡ玉入れ大会が行われました。保護者と職員、合わせて十二名で参加しました。予選で三十九チーム中、十九位となり(十八位までが準決勝進出)、敗者復活戦にまわりましたが、残念ながら準決勝進出はなりませんでした。参加された皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

校長室より

中学部修学旅行の帰りのバスで、カラオケタイムがありました。「天城越え」から始まり、「三年目の浮気」など我々にとっても懐かしい昭和の歌が次々に登場しました。なぜ中学生が？と思いましたが、恐らく親の影響でしょう。大爆笑のバス内でした。

黒岩出身の佐藤溯芳（さっぽう）様から、太平洋戦争を題材にした「ひかりの海」という絵本を三十冊寄贈していただきました。ありがたく読ませていただきます。

いよいよ子どもたちの待ちに待った夏休み。安全で楽しい休みにしてほしいと思います。学校でも十分に指導をしますが、ご家庭でも目配り・気配りをお願いします。